

北地域まちづくり新聞

かわら版

第110号

(発行) 大口町北地域自治組織 (協力) 大口町 地域協働課

2022. 1. 1 (睦月)



あけましておめでとうございます



大口町北地域自治組織

会長 藤田 金生

会員の皆様には新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は、大口町北地域自治組織の活動に格別のご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年はコロナ禍で活動の制限を受けましたが、年度後半からは区長の皆さんにも理事会に参加していただき、第一次まちづくり計画の見直しを始め、防犯や交通安全、非常時に備えての避難所備品の点検・運営訓練、白いタオルによる安否確認訓練、地域包括ケアシステム構築に向けての研修会、あるいは季節の花が咲き誇る花壇の運営やごみゼロ運動等、様々に工夫を凝らして活動を積み上げていただいたことは感謝の極みです。

さて、今年は第二次まちづくり計画がスタートとし、大口町北地域自治組織の事務所が開設されます。第一次まちづくり計画はまだまだ実践が不十分な面もありますが、今回しっかりと総括し現状の分析と将来の見通しに立った新しい計画で、自立と共助のまちづくりを目指したいと思っております。

一方、旧北小学校跡地は令和3年度末に整備が完了し、多世代が集う憩い広場、大口北防災センターに生まれ変わります。大口町北地域自治組織の新事務所は防災センターの中に設置され、西に小口城址公園、北に広大な公園、そして非常時は避難所機能を担う防災センターの中心的位置になります。事務所機能や避難所機能の充実は基より平常時における周辺の活用も検討課題です。会員の皆さんが気楽に集える場、学習の場、情報発信の場等いろいろな予測は立ちますが、皆様のご意見を是非お寄せください。この地が北地域自治組織の事務所を中心に大いに活用され、人々が有機的に結びつく地域の一大拠点に育っていくことを願っています。



私たちは、大口町北地域自治組織とともにまちづくりに取り組んでいます。

あなたの家庭と街で
”はたらく” 機能部品メーカー

Time
タイム技研株式会社

本社 〒480-0125 愛知県丹羽郡大口町外坪 5-98

TEL (0587) 95-6661 (代)

URL <http://www.time-eng.co.jp/>

こだわりの寿司と旬の一品料理

穴子が自信作!

昼の部・・・11:30～14:00

夜の部・・・17:00～22:30

(ラストオーダー各部 30 分前)

定休日：月曜日

(祝日は営業、翌日休業)

0587-96-0015



安否確認訓練～ご協力ありがとうございました～

11月20日(土)7時30分に、安否確認訓練開始を防災無線から放送しました。タオルのカウント数は、初めて安否確認訓練を行った2017年の1,112件から1,510件に増えました。これは各地区の区長、役員、班長の皆さんの活動成果です。「増えたとはいえ確認件数はまだ少ないので、対策が必要」と来年度に向けた意見も出ました。



河北区では、事前に決めてある大災害での指示・情報収集系統に従った安否確認訓練が行われました。総代毎に予め指定した安全な場所に班長が集合し、参集状況に応じて総代が指示を出し、徒歩、自転車により各班長がカウント・報告を実施しました。併せて区内のブロック塀の確認、空き家の確認等も行ない、所要時間を記録しました。大災害時は、『指示はトップダウン、情報収集はボトムアップという原則』『被災による危険下での安否確認』ということが実感できる非常に良い取り組みをされました。

総件数	無事 タオルあり	被災 タオル無し	未確認	無事率
3465件	1510件	1728件	227件	43.58%

地区委員会～地区の課題解決へ向けて～

11月に各地区で、第2回地区委員会が行われました。この委員会の目的は、地区の意見や課題を明らかにすると共に、それらを理事会等で検討した後、改善に向けて対応していきます。各地区から出た意見の一部を紹介します。

外坪

- ・夏場の下校時の暑さ対策として、(株)オークマの東側歩道に長椅子設置。
- ・雑草処理の件、業者の対応の遅さなどの不満や除草作業の希望。
- ・令和4年1月に約100名でごみゼロ運動を実施予定。



上小口

- ・ペットボトルキャップ回収は、小学生でもSDGsを学んでいるので、地域の活動として必要なことであり、大変ではあるが継続をするべき。

中小口

- ・定年が高年齢化しているため、60歳を超えても働く人が増えている。今後もこうした傾向が続くので、地区委員、理事の担い手がなくなり継続が困難となる。
- ・リサイクル、環境への貢献という観点ではペットボトルキャップ分別回収の役割は終わったと思っている。

下小口

- ・コロナ禍のため、区会でも自治組織の話をする時間がない。今後、自治組織の役員が区会に来て意見交換をし、行政区と連帯強化するとよい。
- ・ペットボトルキャップの回収事業は、選別方法等、良い地域を参考に継続実施する。